

この資料は、英国ブリティッシュ・アメリカン・タバコ（以下、BAT）が2023年9月7日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約したもので、資料の内容および解釈については英語が優先されます。また、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。英語版は[こちら](#)をご参照ください。

ロシア事業の最新情報 – 契約締結について

BATは、ロシアにおける事業所有について現在の環境では持続が困難であり、事業を譲渡する意向であることを2022年3月に発表しておりましたが、このたび、ロシアおよびベラルーシの事業を売却する契約を、現地法および国際法に従って正式に締結しました。

売却先はBATロシアの経営陣が率いるコンソーシアムで、売却完了後は同コンソーシアムが両事業を完全に所有することとなります。完了後、これらの事業はITMSグループとして運営されます。

この事業譲渡のプロセスにおいて、私たちは、ロシアとベラルーシの従業員の利益を最優先事項の一つとしてまいりました。契約の一貫として、彼らの雇用条件は、完了後少なくとも2年間は既存のBATの条件と同等となります。

一定の条件が満たされれば、この取引は来月中旬に完了する予定です。事業譲渡完了以降、BATはロシアとベラルーシに拠点を有しないこととなります。これらの市場で行われている事業から財務的利益を得ることはありません。

BATは、2023年7月26日の上半期決算にて発表した通期ガイダンスの達成に引き続き自信を持っています。

注記

- BATのロシアでの事業には、モスクワの本社、75の事業所、サンクトペテルブルクの製造施設が含まれます。BATはベラルーシにも事業所を構えています。
- 2023年6月30日現在、為替変動の影響を除いたベースで、ロシアとベラルーシはBATの売上高の約2.7%、グループの調整後営業利益の約2.5%を占めています。